

魅力再発見!

FUCHU × KOKUBUNJI

おそとで息抜き

ぶらり

おさんぽ

自由にメモできる
簡易MAP付

ミニブック

歴史と緑のまち
国分寺・府中



〳 奈良・平安時代からつづく 〳

国分寺 × 府中 のつながり



いにしへの歴史を感じる
古都エリアでタイムスリップ

国分寺と府中は、はるか昔、今から1300年ほど前の奈良時代から深いつながりがあります。その頃国内は60ほどの国に分かれていましたが、その一つが武蔵国で、現在の東京都と埼玉県ほぼ全域と横浜市、川崎市の大部分を含む広大な国でした。

その政治の中心地「国府」は現在の府中市に置かれ、隣接する国分寺市には、国家の平安を祈念して建てられた国立の寺院「国分寺」が置かれました。国府と国分寺は、古代の都市計画に基づき創建された政治、経済、文化の一大センター

として、車の両輪のように機能していたのです。

JR武蔵野線沿いには、伝鎌倉街道の切り通し(トンネルを掘る技術がない時代、山や丘などを削ってつくった交通道)が残っていて、府中と国分寺をつないでいます。

JR西国分寺駅の北側には、武將を慕って身を投げた遊女の悲恋の伝説が残る「姿見の池」があり、恋ヶ窪の由来を伝えています。

1300年の時を超えて今につながる「武蔵国」国分寺・府中で、のんびりゆったり、新たな発見を楽しんでみませんか。

国分寺・府中観光振興連絡協議会 イメージキャラクター

こくぶひめ

サツキの髪飾りをつけた絶世の美女



ふちゅひこ

国府の官庁で働く
闘球好き役人



ひすりん

国分寺市の鳥
カワセミ



ひばすけ

府中市の鳥
ヒバリ



LINEスタンプも好評発売中!

🔍 武蔵国スタンプ で検索してね



再発見! 01

お鷹の道・ 真姿の池湧水群

📍 東京都国分寺市西元町1丁目・東元町3丁目



かつての徳川家のお鷹場、湧水の水路沿いの小道が「お鷹の道」です。遊歩道が整備され、古風な自然が残っています。全国名水百選に選ばれた美しい清流に感動! せせらぎと風の音、季節の匂いに心が洗われるはず。運がよければ初夏にはホタルのかわいい姿も。鯉に出会える真姿の池は、しっとり静かな佇まいで弁財天が見守るように祀られています。

再発見!

あの浦島がきた?
「四雷王」の伝説
真姿の池弁財天

国分寺の教心というお坊さまに、浦島と名乗る弁天さまの使いが現れ、「四雷王」の経文が厄除けとなる」と伝えると姿を消し、池にはその三文字が浮き出た光る石が残されました。お坊さまが「四雷王」のお札を広め、家の戸口に貼ると災害が避けられたそうです。

再発見!

湧水は
はけ(国分寺崖線)の
賜物

お鷹の道に沿って流れる元町用水は、はけから湧き出た水が集まった清流です。数万年前から、人々はこの水を利用してきました。おたかの道湧水園内にある湧水観察ポイントの前には、ポンポと呼ばれる洗い場が残り、お鷹の道沿いでは今でも野菜を洗う姿が見られます。

ちょっと休憩



史跡の駅 おたカフェ

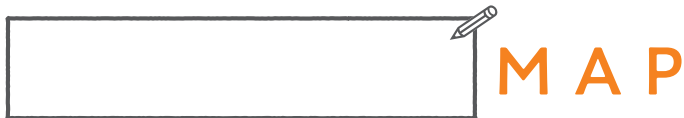
☎042-312-2878

お鷹の道にある森のお休み処。国分寺の野菜やフルーツを使ったメニューがあり、名産スイーツやジャムも販売中。トイレなど誰でも入場可。

見つけた場所を書き込んで
オリジナルMAPを
完成させよう!



おさんぽスポット



魅力再発見!ミニブックは「ぶらりおさんぽ」「ぐるり開運スポット」「わくわく探検」の全3種類あります。
色付きの●スポットは、他のミニブックで紹介しています。





府中

湧水に

ゆかりのある
ルート

国分寺・府中の崖線を巡って、
湧水のある風景に癒されよう！

≪ オススメのルート ≫

🚆 電車で移動(約2分)
東府中駅 → 府中駅

🚌 バスで移動(約8分)
府中駅 → 黒鐘公園入口

京王バス
▶ 国02・国03 国立駅行
▶ 府21 総合医療センター行

詳しいバスの時刻表はこちらから >



- 02
御嶽塚古墳
- 03
西府町湧水・市川緑道
- 04
新田川緑道
- 05
武蔵国府八幡宮
- 06
瀧神社湧水

- 08
殿ヶ谷戸庭園(国名勝)
- 01
お鷹の道・真姿の池湧水群
- 07
黒鐘公園と武蔵国分尼寺

伝説に

ゆかりのある
ルート

国分寺・府中の歴史的なスポットを巡って
様々な伝説に思いを馳せよう！

- 09
姿見の池緑地(窓ヶ窪)
 - 10
武蔵国分寺公園(ふれあい橋)
 - 11
国分寺薬師堂
 - 12
武蔵国分寺跡(国史跡)
 - 13
七重塔跡(武蔵国分僧寺)
 - 14
武蔵国分寺跡・参道口跡(国史跡)
- 府中多摩川
がぜのみちが
オススメ!
清水下小路を
通って
- 19
是政橋
 - 18
高安寺
 - 17
善明寺
 - 16
大國魂神社
 - 15
武蔵国府跡
国衙地区(国史跡)
- けやき
並木通りを
通って



02 御嶽塚古墳

▲ 府中市西府町1-9

☎ 042-335-4393 (府中市ふるさと文化財課)

御嶽塚は古墳時代に築造され、江戸時代には山岳信仰の対象でもありました。今も塚の姿を留める貴重な遺跡です。



再発見!

古代から守られ 信仰された聖なる場所

古墳群が周辺で多く発見されており、20基の古墳からなる御嶽塚古墳群と呼ばれています。

塚上には小さな祠も祀られており、「小野宮願主内藤伊助」の銘があります。小野宮とは、当時のこの地域に属した小野神社周辺地域を指す名称です。古くから地域信仰に根差した対象となっていたんですね。



03 西府町湧水・市川緑道

▲ 府中市西府町1-43

☎ 042-335-4263 (府中市公園緑地課)

谷保天満宮から連続する府中崖線にある緑道です。水路の湧水は東京の名湧水57選にも選ばれています。



再発見!

名湧水に触れて リフレッシュ

府中崖線に沿って整備された遊歩道です。崖線上の道から階段を降ると、すぐに緑や湧水

地などの自然が楽しめます。疲れたら屋根つきの休憩所やベンチで小休止もできますよ。ニセアカシア、ケヤキ、シラカシ林が広がり、石階段を使えば水に触れることも。透明感がありますが飲用不可なので注意。



04 新田川緑道

▲ 府中市日新町1丁目～南町6丁目

☎ 042-335-4263 (府中市公園緑地課)

新田川緑道は、農業用の用水路である新田川を建造物で覆ってつくられた緑道です。梅の並木道も見どころ。



再発見!

緑道内の古戦場碑

緑道の途中には分倍河原古戦場碑があります。実はここ、新田義貞が北条氏を破り、

鎌倉幕府滅亡のきっかけとなった合戦場跡なのです。今では歴史的な一戦が行われた面影を全く感じさせないほどの憩いの場となっています。散歩の途中で、当時の様子に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



05 武蔵国府八幡宮

▲ 府中市八幡町2-33

大國魂神社の境外末社でもある武蔵国府八幡宮は、国府の守護神として創建されたと伝わっています。



再発見!

参道を線路が 横切る神社!?

旧甲州街道から続く長い参道の途中には踏切があり、うっそうとした杉の森の中、京王競

馬場線の線路が横切っているので時折電車が通過します。他では中々出会えない不思議な風景を見ることができるので、是非一度は訪れてみてください。この辺りの八幡町という地名の由来にもなっています。



06 瀧神社湧水

▲ 府中市清水が丘2-37-1

瀧神社は府中崖線の上であり、昔、「くらやみ祭」の競馬式(こまくらべ)に出る馬と騎手がこの湧水で体を清めていたそうです。



再発見!

見事復活を遂げた 奇跡の湧水

瀧神社は住宅地に残された豊かな緑の中にあります。瀧神社の名称から、過去には大量の

湧水量があったと考えられますが、宅地化が進む中、徐々に枯渇してしまいました。しかし道路を浸透性の高いアスファルトに変更し、現在では奇跡の復活を遂げました。水音と緑に心癒されるスポットです。



07 黒鐘公園と武蔵国分尼寺

▲ 国分寺市西元町4-10-47(黒鐘公園)

長い滑り台と、春の桜が人気の公園です。園内にある池は崖線下からの湧水で、かつては国分尼寺の生活水として利用されていました。

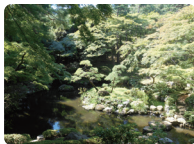


再発見!

黒鐘という名前の由来

武蔵国分尼寺跡の近くに残る「黒鉄(黒鐘)」という不思議な地名。現在、善明寺(府中市)には、鉄造阿弥陀如来坐像

がありますが、黒鉄谷で造り武蔵国分寺に安置したという伝承が残ります。黒鐘公園北側の伝祥応寺跡で見つかった板碑(武蔵国分寺跡資料館展示)の阿弥陀様がこの鉄仏にそっくりなのは偶然でしょうか。



08 殿ヶ谷戸庭園 (国名勝)

▲ 国分寺市南町2-16
☎ 042-324-7991 (殿ヶ谷戸庭園サービスセンター)
国分寺崖線の地形を生かした回遊式庭園で、崖上の芝生池と崖下の湧水池で雰囲気が一変する造園手法が見所です。



再発見!

湧水の温度の秘密

庭園の湧水量は平均して毎分37リットル。地下水は外気に影響されにくいので、湧水

源の水温は年間を通して15~18℃と一定です。そのため夏は冷たく、冬はややぬるく感じます。園内の湧水は東京の名湧水57選に選ばれています。真冬の朝は市内の湧水源付近で蒸気霧が見られるかも。



09 恋ヶ窪 姿見の池緑地

▲ 国分寺市西恋ヶ窪1-8
☎ 042-325-0111 (国分寺市緑と建築課・代)
樹林や平坦な畑、空き地がある緑地。遊女達が自らの姿を映していたので、「姿見の池」と呼ばれるように。



再発見!

珍しい「恋」の付く地名の由来

鉄道の駅で、「恋」の字がつく駅は全国で4つだけ。そんな珍しい「恋ヶ窪」の由来は諸説あります。①国府に近い窪地「国府(こう)

ヶ窪」②鯉がたくさんいた「鯉ヶ窪」③狭い窪地の「峡(かい)が窪」④アイヌ語の「カイ(窪)」が語源など。でも、やはり⑤畠山重忠(はたけやましげただ)と夙妻太夫(あさづまだゆ)の悲恋物語が伝わる「恋ヶ窪」が一押し?



10 武蔵国分寺公園のふれあい橋

▲ 国分寺市泉町2-1-1
☎ 042-323-8123 (武蔵国分寺公園サービスセンター)
春には通り沿いの桜をはじめ、公園内を見渡せる絶景ポイントです。アプローチもあり、車椅子でも渡れます。



再発見!

東京スカイツリー×七重塔

ふれあい橋の上から晴れた日には東京スカイツリーが見えます。高さは「武蔵国」を見渡

せることにちなんで634メートル。対する武蔵国分寺の七重塔は推定約60メートル。まさに当時の武蔵国のシンボルでした。橋の上からぶらり国・府のアプリで「現地で見渡」ARの七重塔を見ると、より楽しめます。



11 国分寺薬師堂

▲ 国分寺市西元町1-13-16 (国分寺境内)
☎ 042-325-0111 (国分寺市観光協会・代)
9代9通の徳川将軍家寺額安堵朱印状が伝わる国分寺薬師堂。国指定重要文化財の木造薬師如来坐像は毎年10月10日御開帳。



再発見!

足に泥がついた十二神将

その昔、源頼義は武蔵国分寺に立ち寄った際、薬師如来に戦勝を祈願。以降、東にある

小高い丘(現府中市・浅間山)に鎧を着た人が北を睨んで立つようになりました。雨の翌日、薬師堂の十二神将の一体の足が泥まみれでした。実は十二神将が頼義を見守っていたのです(『医王山縁起』より)。



12 武蔵国分寺跡 (国史跡)

▲ 国分寺市西元町1~3丁目
☎ 042-300-0073 (国分寺市ふるさと文化財課)
741年の聖武天皇の詔によって造営がはじまった国分寺。武蔵国分寺は758年頃に主要な建物が完成したと考えられています。



再発見!

礎石を持ち帰ると...

武蔵国分寺の造営に使われた礎石はなんと約500個。この辺りは大きな石が取れないため、

数十キロメートルの距離を苦勞して運んできました。そのため、焼失後の国分寺跡から礎石が持ち出されることも。ただし中にはその後不吉などが起こり、戻す人もいたそうです。礎石を持ち帰るのはやめましょう。



13 七重塔跡 (武蔵国分僧寺)

▲ 国分寺市西元町3丁目
☎ 042-300-0073 (国分寺市ふるさと文化財課)
金光明最勝王経を安置した国分寺のシンボル。ぶらり国・府アプリのARで当時の再現を見ることができま



再発見!

七重塔再建を願いつた福正の財力と「国分寺愛」

男衾郡(おぶすまぐん)の壬生吉志福正(みぶのきしふくしょう)という人物が、焼失した武蔵国分寺の七重塔の再建を願いつ

たという「続日本後記」のエピソードは有名ですが、彼については、二人の子どもの一生分の税金を一括納入したという話もあります。七重塔の再建を願いつた財力と武蔵国分寺への想いは感動します。



14 武蔵国分寺跡・参道口跡(国史跡)

▲ 府中市栄町3-17-1(万作の木公園内)
☎ 042-335-4393(府中市ふるさと文化財課)
武蔵国府から武蔵国分寺と国分尼寺までの道路跡と入口の門柱跡があります。寺地との境を示す貴重な遺跡です。



古代の人の願いと歴史を眺める

その昔、国府と国分寺を直接つないでいた道の分岐点には、壮麗な寺院や七重塔がそびえ

ており、参拝に来た人や修行中の僧侶が、最初に手を合わせた場所と考えられています。国分寺の正面入口に建てていた門の柱をモニュメントのように復元していて、歴史をロマンチックに眺められます。



15 武蔵国府跡 国衙地区(国史跡)

▲ 府中市宮町2-5
☎ 042-335-4393(府中市ふるさと文化財課)
武蔵国の国府の政務機関である、国衙(こくが)の跡が残る史跡。



AR映像で国府中心の役所を再現

平安時代の国衙の様子をAR映像で見ることができます。当時の建物の赤い柱がモニュメント

として復元されており、史跡前の道路にある丸い表示は、建物の柱穴が延びていたことを表しています。道路に遺跡表示があるのは、とても珍しく必見です。大國魂神社を訪れた際には寄ってみてください。



16 大國魂神社

▲ 府中市宮町3-1 ☎ 042-362-2130
武蔵国の神々を一堂に集めて祀る由緒ある神社。明治以前は武蔵総社六所宮と称した。北を向く拝殿の南にはご祭神を祀る本殿(都指定文化財)があります。



境内に徳川家康が祀られている

府中と徳川家康は深いつながりがあり、境内には東照宮があります。府中本町駅前の「国司館

と家康御殿史跡広場」には、家康が建てたとされる府中御殿があり、家康没後、その霊柩が駿河国から遷される途中、府中御殿で数泊しました。その霊柩を境内に移したのがこの東照宮の始まりとされます。



17 善明寺

▲ 府中市本町1-5-4 ☎ 042-364-2986
天台宗寺院。鉄造阿弥陀如来坐像は現存する日本最大の鉄仏で、鎌倉時代の作。国の重要文化財に指定されています。(毎年11月3日のみご開帳)



歴史の謎を秘めた大鉄仏

鉄仏の胸や袖に铸造されていた銘文から、建長5年(1253)に明運という僧侶が勧進

して費用を集め、藤原助近という職人が铸造したことや、藤原氏を名乗る3人の女性によって造立された仏像だったことなどが、市史編さんの調査によってわかりました。



18 高安寺

▲ 府中市片町2-4-1 ☎ 042-361-2229
将軍足利尊氏は国と人々の平和を願い全国に安国寺を建てました。武蔵国の安国寺として高安寺は創建されたと伝わっています。



鎌倉公方足利氏ゆかりの高安寺

室町時代の高安寺は鎌倉との関係が深く、室町幕府から鎌倉を拠点として関東の支配

を任されていた鎌倉公方足利氏が、幕府との戦乱の際に武蔵国府中に出陣してきた時に陣をおきました。戦国時代にも、高安寺は小田原北条氏から税を免除されるなど、特別な恩恵を受けていました。



19 是政橋

▲ 府中市は政5丁目・6丁目
府中市と稲城市を結ぶ全長約400メートルの橋です。晴れた日には富士山も見える絶景スポットです。

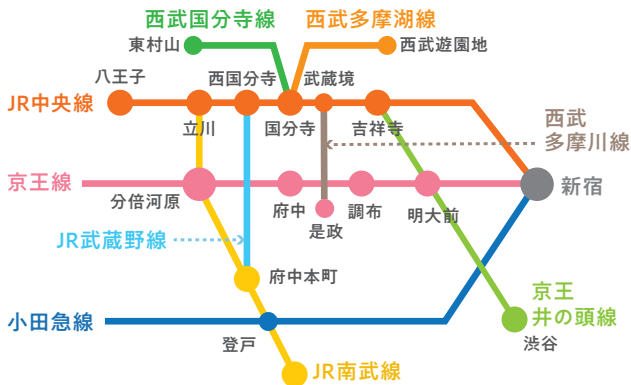


オリンピック自転車競技(ロード)のスタートが2つ?

是政橋は東京2020オリンピック自転車競技(ロード)のコースに指定されています。武蔵野

の森公園からここまでのコースはバレード区間という非競技区間で、是政橋から静岡県富士スピードウェイまでの正式なレースが始まります。府中にはスタート地点が2つあると言えるかもしれません。

アクセス方法



発行者： 国分寺・府中観光振興連絡協議会

連絡先： 国分寺事務局 (国分寺市役所 観光協会事務局内)
☎ 042-325-0111 (内線 393)

府中事務局 (府中市役所 観光プロモーション課内)
☎ 042-335-4095

※本冊子の掲載情報は2021年3月現在の情報です。
予告なく変更または中止となる場合がございます。
営業情報などの詳細は各施設HPや現地でご確認ください。

※利用者様の安全確保のため、各施設・店舗をご利用の際は
感染防止対策へのご協力をお願いいたします。